

1. 件名 : OECD NEA Ageing management considerations in mechanical codes and standards
ワークショップ発表者との面談

2. 日時 : 令和5年5月31日(水) 10:00~11:15

3. 場所 : 原子力規制庁8階会議室

4. 出席者 :

原子力規制庁 技術基盤グループ 技術基盤課 佐々木企画調整官、篠田係長

東京大学大学院工学系研究科

附属レジリエンス工学研究センター 准教授

三菱重工株式会社 原子力セグメント

機器設計部 原子炉機器設計課 主席技師、他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力発電部門 保全計画グループ リーダー

5. 要旨 :

- 経済開発協力機構原子力局が日本で開催する経年劣化に関するワークショップにおいて、日本から5件の口頭発表が行われる予定である。
 - セッション1 (National regulatory requirements related to ageing phenomena on reactor coolant pressure boundary) において、日本の規制要求について発表
 - セッション2 (Code requirements on RCPB to address/prevent ageing) において、日本機械学会維持規格、日本原子力学会原子力発電所の高経年化対策実施基準について発表
 - セッション3 (Operation experiences related to ageing phenomena on RCPB) において、ATENAで実施しているPWR一次系ステンレス鋼配管粒界割れ知見拡充、日本電気協会原子炉構造材の監視試験方法等について発表
- 口頭発表する参加者の報告内容について、規制要求と学協会規格との関係、学協会企画官の関係等わかりやすい説明になるよう情報交換を行った。

2. 配布資料 :

[Nuclear Energy Agency \(NEA\) - Ageing management considerations in mechanical codes and standards \(oecd-nea.org\)](https://www.oecd-nea.org/ageing/)

以上